

▼そうすると幼児は之に由て植物生育の自然の微妙な力を知らずくに悟り、只口では教へられぬ訓を無言の間に受ける事になる。そうして保姆と幼児の協力の結果、其處にできた花はかざりに、野菜は食用に、豆は豆細工に、種子は翌年の爲にといふ風に、實用に供する事ができる。

▼幼児の一人々々に少しばかりの土地を興へるといふ事は、都會の狭い幼稚園では、到底望み得られぬとしても、何か保姆が工夫をして、幼児に向つて植物が芽を出す、大きくなるといふ次第を見せたいものである。たとへば箱庭様のものを作り、たとひ少しでも其中に何か植ゑるとも、又は植木鉢を日あたりのよい窓の處に置かうとも、又は只水中にさへ置けばよい植物を瓶で養はうとも、何かそこに方法がありそうなもので、之に由りて幼

児は水をやるとか日光を十分に興へるとか樂んで植物の爲に善をなす事ができる。自分の幼稚園は狭いから大きな森を園内に作る事ができぬといふ理由で最も小なる種子を蒔く位の事もせぬといふ筈はない。

### 井上博士の幼稚園談

文學博士井上圓了氏は先頃雑誌「日本の小學教師」に「教育事業及慈善事業を論じて幼稚園のことに及ぶ」といふ題で一文を載せられた。吾人は博士の如き知名の人が漸く幼稚園事業に着目するに至つた機運の來たのを喜ぶ。博士は既に自ら園主となりて昨月より幼稚園を開設せられた。恐らく今後は同博士の意見を屢々聞くことも出來よう。今左に博士の論文を轉載する。尤

も博士の文中、「附屬幼稚園は設備を始め諸事皆  
 亞米利加風に倣つて居るから、之は亞米利加的  
 幼稚園だといはねばならぬ、全國の幼稚園も皆  
 範を此に取つて居るから、皆亞米利加的で、從  
 つて日本には亞米利加的幼稚園の他には日本の  
 幼稚園といふものがない」といふ様な意味の文  
 があるが、これはどういふことを意味せられて  
 居るのか、分りかねる、又「幼稚園の保育が家  
 庭と一致しない非難」といふことも吾人の考  
 へて居る所と同じであるかどうかは分らない、  
 何れ時を得て博士の説を伺ふことも出来ようと  
 思ふ、

我邦に於て、近來一年毎に教育事業大に興り、慈  
 善事業も亦漸く隆んなるに至れるも、目下尙は缺  
 乏を感じるものは左の三園なり。

一、乳兒園 二、幼稚園 三、養老園

乳兒園は貧民の乳兒を乳養する處にして、英國龍  
 動の如き貧民多き場處には、殊に此組織の完備せ  
 るものを見る。其方法は貧民が乳兒の爲めに夫婦  
 共に出で、勞働に就く事能はざる場合に、毎朝家  
 を出づるに當り、其乳兒を乳兒園に携へ行き、之  
 に乳養を托し自ら出で、勞働に就き、夕刻再び乳  
 兒園に行き乳兒を受取りて家に歸る。かくする時  
 は、一家の夫婦共に毎日家を閉ちて勞働に従事す  
 るを得るなり。而して乳兒園には數名の乳母と子  
 守あり、乳兒を養ふべき食品を備へ、乳兒を遊ば  
 すべき遊具を設け、建築といひ居室と云ひ、庭園  
 と云ひ、其壯麗なること貧民の住家とは雲泥も管  
 ならざる相違あり。斯る場處にて乳養せらるゝは  
 獨り其父母の爲めに益する所あるのみならず、其

乳兒の爲めに大なる幸福と云ふべし。而して其設立も、維持も、共に慈善事業に屬するものなれば、終日乳兒を托するも其乳養料は僅に銅貨一枚に過ぎず、安價も亦甚し、かく僅に銅貨一枚を費して夫婦共に出で、日給を取るとを得るに至るは實に貧民の幸福と曰はざるべからず。

次に幼稚園は、我國に於て既に其設備あるも今日一般に之に重きを置かざる風あるは教育上の一大缺點にして今より大に講究せざるを得ず、隨て慈善的幼稚園に至りては其數甚だ尠なし、故に今后は幼稚園の普及發達を圖るの必要あり其方法は別に述ぶる所あるべし。

次に養老園は老ひて頼るべき子供もなく、親戚もなきものを一處に集めて休養せしむるものにして其組織は米國に於て専ら行はるゝなり、之に無財

産の老人を慈善によりて養ふものと、有財産の老人を一定の養料を徵集して寄宿せしむるものとの二様あり、其慈善に屬する方は貧院の一部にして東京市の養育院に見る所なり。唯其組織の全國に普及せざるは遺憾とする所なり。次に財産あるものを養ふ方法は我邦の如き家族制の組織を有し、親子同居の國風を存する今日にありては未だ米國の如き必要を認めざるなり。

西洋にありては、以上の三園の如き、イツレモ其多くは宗教の關係より成り、或は教會の事業に屬し、隨て宗教道德の修養をなさしむ。もし其の宗教を耶蘇教に限り、或は耶蘇教中の一宗一派に限ると云ふに至りては、信仰の自由を妨げ、思想の偏見を免れずと雖も、道德修養の手段として之を觀るときは德育普及の方法は至れり盡くせりと

云ふて可なり、蓋し西洋に日新の學術隆盛を極むる中にありて、耶蘇教が深く人心に入りてよく信仰を固結し容易に動かすべからざる風あるは、全く慈善事業と教育事業とを占有するに由る。又社會一般の道德の比較的に進み居り公德の發達殊に著しきは道德修養の方法其宜しきを得るに由る。就中幼稚の時より宗教道德を注入せるにより。即ち乳兒園幼稚園等に宗教的機式裝置を設けて自然に修養するによるなり、我邦にありても、加能越三國の如き眞宗の流行せる地方にありては、家庭にて父母が朝夕幼兒に宗教を注入し、其感化の効力の觀るべきものあり、余之を觀る行に、道德教育は幼稚の時より始めざるべからざるを知る。教育の要は、智育德育躰育の三者の外に出でざるべし。而して智育は學校教育に讓るべきも、德育

躰育の二者は固より家庭の任する所なり。家庭にて之を實行し難き事情ありとすれば、家庭の代用に當る所の幼稚園に於て實行せざるべからず、此に於て幼稚園の事を論ずるは無用の言にあらざるを知るべし。

我邦の幼稚園は東京大坂京都を始めとし、各地の都會には多く其の設置あるも完全せるものは至りて尠なし。若し其の由來を尋るに、東京御茶の水女子高等師範學校附屬幼稚園が本邦幼稚園の元祖にして亦最も完備せるものなり。而して其設備はすべて亞米利加の幼稚園を學び諸事みな亞米利加風に倣へりと聞けり。果して然らば其幼稚園は亞米利加的幼稚園と謂はざるべからず。然るに全國の幼稚園は其模範を此御茶の水幼稚園に取りたる事明らかなれば、我邦には亞米利加的幼稚園あり

て、日本の幼稚園なしと云ふて可なり。先年幼稚園を創設せしより多少改變する所ありしにもせよ其亞米利加的根柢は今日尙は存するとは疑なかるべし。故を以て幼稚園の保育が家庭と一致せざる點に於て非難の聲あるを聞く、若し今後日本の幼稚園を設けんと欲せば西洋の模寫にわらずして日本の家庭よりあみ出したる幼稚園を作らざるべからず、然るに今日未だかゝる幼稚園なきは我邦幼稚園の未發達を證するに足る。

幼稚園の保育は學校風よりも家庭風にするを要す然るに動もすれば、學校風に流るゝ傾きあるは、幼稚園一般の弊にして、我邦の幼稚園は殊に其の弊あるを見る。其教師たる保姆も幼兒の母たる念よりも、學校の教師たる考を有し、躰育德育よりも寧ろ智育を進めんとする傾向あり。又保姆其人

を見るに多くは保姆を以て満足する人にわらずして、他日小學校の教師若しくは小學以上の教師たらんことを望むものなり。是れ今日保姆の位置も卑く待遇も薄く一般に輕視せらるゝの結果にわらざるなきも、亦日本人の通性として志望の高きによる點なきにわらず。且つ今日の保姆は其年齢も經驗も、未だ幼兒の母たる點に達せざるもの多きが如し、故に自然の勢家庭風よりも、學校風に流るゝ傾きあるは免れ難き所なり。去れば今より其弊を矯正する方法を講ぜざるべからず、

又、現今の幼稚園の保育法を觀るに、幼兒に相當せる智育躰育の法のみありて、德育の力は缺けるが如く感ぜらるゝなり。之れ其方法の智育躰育よりも困難なるに起因するも亦其方法を度外に置きて講究せざるによるが如し。既に我邦の幼稚園は

其模範を西洋に取りながら彼國の德育の方は宗教に關聯せるを以て之を除きたるの結果自然に德育の方面を缺くに至れり。若し西洋の德育は餘り宗教的にして我邦に適應せずと云ふならば、之に代用すべき方法を講究せざるべからず、又西洋にありては幼稚園に於て殊に德育を授けざるも、朝夕家庭に於て宗教的德育を授くるなり。然るに我邦の家庭の多くは宗教的德育を缺けるものなれば、是非幼稚園に於て之に代用すべき德育を授けざるべからず。

以上は我邦幼稚園の短所を指摘せるものなれば、今より大に講究を要するとするも、我邦の教育家は小學以上の教育のみに意を注ぎ、幼稚園の如きは之を度外視する風あるは、亦今日教育の一大缺點なり。もとより其教育は小學教育の如く義務的

のものにわらずして、任意的のものなれども、小學教育の地盤を固むるものにして、殊に德育躰育に於ては正しく其の素養を與ふるものなれば、決して之を輕視すべからず、其重要な點に於ては一步も小學教育に譲らざる道理あり、或は却て之よりも大切なる理由なきにわらず、故に今後教育家も大に幼稚園教育に意を用ひて深く其方法を考へざるべからず。

下流社會の幼兒を集めて之を保育するは上流社會の方より一層其必要を感ずるも、是れ全く慈善事業に屬する事なれば之を普及するは到底我邦現今の民力の及ぶ所にわらず、然れども茲に輕便なる一方法あり、即ち町村に遍在せる寺院を以て幼稚園に充つる、一事なり、地方に在りては寺院は大抵幼兒の遊戯場となり、堂の内外自然に幼稚園の

形をなす。唯其の遊戯は兒童の勝手氣儘に任せ外より何等の制裁を加へず、監督を興へざれば其遊戯は悪戯となり、寺院の神聖を汚がし裝飾を損し風致を害するは勿論、兒童の教育上害ありて益なしとす。故に若し此等の幼兒を寺院の一室に集め、規律正しく且つ訓育上に益ある遊戯をなさしめ、修身上に關係ある唱歌を教へ、適當の制裁を加へ監督を興ふるに至らば、寺院と幼兒との兩方に利ありて、而かも町村の爲めに益する事尠からず。而して之れに要する所の經費は極めて少額にて足れりとす。其遊戯場は寺院の一室若くは堂宅及庭園を用ふるものなれば、別に建築する必要なし。又其保母の如きは住職が妻帯するものとすれば、其妻に多少の練習をなさしむるを以て足れりとす保母の練習は他の練習に比すれば短日月の間にな

し得べく、其他は實地の經驗を積むを要するのみなり。されば慈善的に實施する事頗る容易なりとす。又一方には神社の庭園を以て幼稚園に充つるも可なり又は小學教員の妻をして保母を兼ねしむるも可なり、小學教員は薄給のもの多ければ其方にて妻子を養ふをかたし、若し其家をして幼稚園に充て其妻をして保母を兼ねしむれば多少家政の一助ともなるべし、此等の方法によるときは全國に幼稚園を普及するを決して難事にあらざるなり

(日本の小學教師)

幼稚園かき  
保育法夏期講習會

雜報

來る七月廿一日より十日間、當フレーベル會に於て開かるべき同會は、實に東京に於ける幼稚園夏